

2021年12月23日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
 (コード番号：4572)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
 (TEL：078-302-7075)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年2月12日に公表した2021年12月期通期（2021年1月1日～2021年12月31日）の連結業績予想を、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正内容

2021年12月期通期業績予想の修正の内容（2021年1月1日～2021年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	923	△1,811	△1,816	△1,825	△147.19円
今回修正予想 (B)	2,006	△548	△552	△560	△44.12円
増減額 (B-A)	1,083	1,263	1,263	1,265	
増減率 (%)	117.4%	—	—	—	
(参考) 前期(2020年12月期)実績	1,133	△1,057	△1,077	△1,111	△90.33円

2. 業績予想修正の理由

2021年12月期の連結売上高予想を923百万円から2,006百万円（前回公表予想比1,083百万円増、同117.4%増）に上方修正いたします。事業別には、創薬支援事業の売上高予想を923百万円から878百万円に、創薬事業の売上高予想をゼロから1,128百万円に修正いたします。創薬支援事業は、北米における売上が期初予想よりも好調だったものの、国内における売上が期初予想を下回る見通しです。創薬事業においては、米ギリアド・サイエンシズ社から受領するマイルストーン収入が売上に寄与いたします。

連結営業損失の予想は1,811百万円から548百万円（前回公表予想比1,263百万円の損失縮小）に上方修正いたします。これは、創薬事業においてマイルストーン収入による売上が計上したことが主な要因です。

以上の売上高および営業損失の予想に営業外損益の影響を考慮し、経常損失は552百万円（前回公表予想比1,263百万円の損失縮小）、親会社株主に帰属する当期純損失は560百万円（前回公表予想比1,265百万円の損失縮小）となる見込みです。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上